



講座のアピールポイント

当科は病院の臨床検査センター、感染制御センター、臨床遺伝診療室として、臨床的に管理、運営、指導を行なっていますが、研究面としては以下の活動に力を入れています。

講座研究紹介

① 甲状腺疾患、内分泌疾患等の遺伝子検査

現在数多くの疾患は遺伝子の異常で起ることが知られています。一部の遺伝子は外部の検査会社で検査可能ですが、当科では外部検査会社では施行できない遺伝子検査を行なっています。特に、甲状腺疾患の遺伝子検査は日本全国の医療施設より依頼されており、年間100例以上と中核施設としての役割を担っています。

また、臨床遺伝診療室として運営されており、院内各種の遺伝性疾患の遺伝カウンセリングを行なっています。

② 甲状腺検査の国際標準化

一般の方はご存知でない方が多いと思いますが、臨床検査は使用する機器によって検査値が異なっています。国際臨床化学連合は甲状腺検査の機器間での検査データの差を解消するよう、国際標準化への取り組みを行なっています。当科は甲状腺検査の国際標準化に向けた日本での中心施設として活動をしています。その成果として、甲状腺刺激ホルモン TSH の国際標準化を 2021 年 3 月を目途に日本にて実施